



総務常任委員会議案審査報告書

1. 第 70 号議案 町田市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 71 号議案 町田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 72 号議案 町田市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例
1. 第 73 号議案 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
1. 第 74 号議案 町田市職員の分限に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 75 号議案 町田市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例
1. 第 76 号議案 町田市病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 77 号議案 町田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 78 号議案 町田市一般職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 79 号議案 町田市非常勤職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 80 号議案 町田市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例
1. 第 81 号議案 町田市組織条例の一部を改正する条例
1. 第 83 号議案 町田市個人番号及び特定個人情報の利用等に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 84 号議案 町田市手数料条例の一部を改正する条例
1. 第 88 号議案 町田市議会議員及び町田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 64 号議案 令和4年度（2022年度）町田市一般会計補正予算（第3号）

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和3年度（2021年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳出)

総括

- (1) 適正な予算執行のために、流用・不用額の原因が発生した場合には早期に補正予算を組むように努められたい。

総務費

- (2) ふるさと納税のポータルサイトを新たに利用し納税額を増やした経緯を踏まえ、さらなるポータルサイトへの加入を検討、実行されたい。
- (3) ふるさと納税については、市民税控除額と町田市への寄附額の差額が開かぬよう、町田市への寄附が進む方策を講じられたい。
- (4) 老朽化する公共施設等の維持保全経費は、優先順位をしっかりと行い、物価や資材価格の状況を勘案しながら柔軟に対応されたい。
- (5) 財政調整基金について、引き続き、物価高騰及び新型コロナ対応等への対応として、市民生活や市内事業者など、影響が著しい環境に対し、柔軟かつ効果的な支援予算を執行されたい。
- (6) 2050年ゼロカーボン達成のため、市庁舎を含む公共施設に太陽光発電施設の設置を進め、公共施設の電力使用量における再生エネルギー比率100%を達成できるよう取組を進められたい。
- (7) 市の所有する車両については、市場価格を考慮した上で適正価格での売却をするなど、売却時期・買い替えのタイミング・リースへの変更等、よりメリットが出るよう図られたい。
- (8) 市有財産は市民の財産でもある。土地なども売却ありきではなく、庁内で有効活用できるよう、慎重に検討すべき。
- (9) 中期修繕計画に関しては、明確な基準を示すよう努められたい。
- (10) 公共施設再編に関しては、関係団体と丁寧な調整を行い、計画ありきで進めることのないよう努められたい。
- (11) 成果指標については、数値目標を設定の上、適切に管理されたい。
- (12) 郵送については、割引制度が複雑ではあるが、周知徹底によりさらなる利用を促進し、コストの削減に努められたい。
- (13) 研修の実施に当たり、動画配信やライブ配信等の手法を取り入れて、受講者数は増えたが、面談での研修に劣らないよう、演習等も積極的に取り入れて対応されたい。
- (14) 女性の管理職の職員割合の増加に努力されたい。
- (15) 時間外労働については、月45時間、年360時間までの原則を守られたい。特に、年720時間を超える職員が出ないよう徹底されたい。
- (16) 工事請負契約並びに物品購入契約の市内事業者受注率を引き上げられたい。
- (17) 広告換算費は、2021年度に飛躍的に実績が増加されたものの、その数値が目標に反映されていない。よって、より機動的に対応されたい。

- (18) シティプロモーションについては、テレビ・新聞・雑誌等の広告換算費だけでなく、WEB、SNS等の指標も重視されたい。
- (19) 新聞購読者の減少に伴い、広報紙発行の行政費用も減少しているとのことだが、デジタルデバイス対応のためにも、より多くの市民に広報紙が届くように引き続き努められたい。
- (20) 市のホームページについては、アクセス解析に力を入れ、より利便性の高いものになるよう努められたい。
- (21) 点字広報に関しては、市民の手に触れやすい場所に設置するよう努められたい。
- (22) 市民の多岐にわたる生活相談のため、需要が増えている休日相談会や市民センターでの相談会は、さらに増設されたい。
- (23) 出前講座等の啓発活動を、より効果を高めるように努力されたい。
- (24) 「選挙出前講座」の内容について、さらに検討されたい。
- (25) 公営掲示板の高さについて、設置場所を検討されたい。

労働費

- (26) 勤労者福祉サービスセンター会員数及び事業所数が、複数年にわたって減少しているが、両者の増加に向けて、鋭意努められたい。

農林費

- (27) 生産緑地指定に関しては、市内に潜在的に存在する生産緑地になりうる土地を生産緑地に指定できるよう努められたい。
- (28) 生鮮宅配ボックスの市内産農産物の利用率等、詳細データの取得に努め、それを公表されたい。
- (29) ふるさと農具館・七国山ファーマーズセンターについては、魅力の向上・リピートさせる取組など、利用者数を向上させる取組を図られたい。

商工費

- (30) ターミナルプラザ事業においては、観光バス利用台数の上限がどの程度か把握した上で目標設定をし、利用増、収益増に努められたい。
- (31) ターミナルプラザ店舗貸付料滞納については長年の懸案事項となっている。早期に解決できるよう、努められたい。
- (32) 町田ターミナルプラザ事業及びプラザ町田事業について、ここ数年、大幅な赤字事業となっている。近年の財政状況を鑑み、事業赤字による財政支出を抑えるよう、抜本的な事業改革に取り組まれたい。
- (33) 原町田大通り滞留空間の整備については、社会実験に対する周辺事業者や地権者の声を尊重されたい。
- (34) 原町田大通りの滞留空間設置事業について、中心市街地の商店・個人事業主の方々に対し、経済効果が表れるよう、市内事業者へのアンケートなどを行うなど、丁寧に協議されたい。

- (35) 年間400を超える起業した事業所に対し、起業後の企業支援も続けられたい。
- (36) まちだキッズアントレプレナープログラムの実施にあたっては、教育委員会との連携を強化されたい。
- (37) 町田創業プロジェクトを実施したことが町田市内で起業に寄与をしていることがより明確になるよう、創業プロジェクトの利用と町田市での起業の相関を把握されたい。
- (38) 起業のみならず、廃業・倒産についても把握し、町田市内全体の経済状況から政策の実現に努められたい。
- (39) 町田市文化交流センターの運営について、指定管理者から指定管理料0円の提案があったことを受けつつも、文化交流センターの安定した運営が続けられるよう努められたい。
- (40) まちなかシネマの上映映画の選定にあたっては、アンケート等の結果を踏まえ、より多様なニーズに応えられるよう努められたい。
- (41) デリバリー・テイクアウト支援事業について、個人飲食店へのアンケート調査などの意見交換を行い、飲食店の成長に資するものであるかどうか検証されたい。
- (42) 町田市薬師池公園四季彩の杜でのイベント開催結果について、大盛況だと評価するイベントに関しては、積極的に来場者数を公表されたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳出)

総務費

- (43) スケジュール管理システム導入による業務効率化の成果を示されたい。
- (44) 町田市でここ数年強化しているDXの取組については、市民に対し、より積極的にアピールされたい。
- (45) 財政指標については、財政力指数や経常収支比率など数値の増減の理由を明確に分析し、予算の策定に当たられたい。
- (46) 企業版ふるさと納税については、成功している他自治体を参考にしたり、町田市と接点の多い近隣自治体にアプローチしたりするなど、取組を強化されたい。
- (47) 公共施設再編においては新たな学校づくりも例外とせず、政策的、財政的観点からも、全庁的に取り組むよう努められたい。
- (48) 自治体間ベンチマーキングについては、課別事業別行政評価シートを活用し、数値での比較を重視したものに組み込まれたい。
- (49) テレワークやWEB会議が進む中で、さらなる電子化と意識の醸成により紙削減を図られたい。
- (50) 市税徴収補助業務を、包括外部委託した結果、一定程度の効果を得られた模様だが、今後も引き続き包括外部委託については、多角的に対応されたい。
- (51) 未収金回収をより推進し、不納欠損引当金を減らすよう努められたい。

商工費

(52) 多くの方が利用したいと考えている中心市街地滞留空間整備事業にあつては、尚一層憩いと賑わいを創出するような設計に向けて努められたい。

2022年9月16日

総務常任委員長

おんじょう 由久

町田市議会議長

戸塚 正人 様

健康福祉常任委員会議案審査報告書

1. 第 87 号議案 町田市民病院使用条例の一部を改正する条例
1. 第 64 号議案 令和4年度（2022年度）町田市一般会計補正予算（第3号）
1. 第 65 号議案 令和4年度（2022年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第1号）
1. 第 66 号議案 令和4年度（2022年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第1号）
1. 第 67 号議案 令和4年度（2022年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和3年度（2021年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

（歳出）

民生費

- （1）市民後見人育成事業における成果指標の定義を「累計」登録者数としているが、登録を取り消す市民後見人が一定数いらっしゃる。評価シートの「その他成果の説明」欄に、年度末時点における市民後見人の登録者数及び受任者数を記載し、事業の実態をより正確に示すよう努められたい。
- （2）成年後見制度の利用促進を図る上でも、財源の確保とともに、市民後見人登録者が不安なく後見活動を受任するためのフォローアップや実務研修を充実させ、障がいや高齢福祉と連携し将来に向けての被後見人やその家族も含めた丁寧な対応等に努められたい。

- (3) せりがや会館事業の各利用機関への対応にあたり、親の会の活動の場や市の施策との関係性等、これまでの経緯を踏まえた協議検討を行い、利用団体の活動に支障がないよう丁寧な対応に努められたい。
- (4) 実地指導の際には、関連する課の職員が共に立ち会う件数を増やし、より専門的な視点での助言が行えるよう努められたい。
- (5) 町田市障がい者就労・生活支援センターを通して就労した方たちが、安心して仕事を継続していけるよう定着支援等アフターケアの充実を図られたい。
- (6) 障がい者福祉費の大賀藕絲館事業に関して、月1万円にも満たない、利用者の工賃の引上げが図られるように事業の改善を図られたい。
- (7) ダリア園事業については四季彩の杜の連携を強め、入場者数の一層の増加を図られたい。
- (8) リス園事業については四季彩の杜の連携を強め、入場者の目標数の増加を図られたい。
- (9) 授産センター事業の美術工芸館に関して、月7,000円程だという利用者の工賃の引上げが図られるように事業の改善を図られたい。
- (10) 介護人材バンクの事業を充実し、介護職員の離職率の一層の減少を図られたい。
- (11) 今後見守りが必要な方が増加するにあたり、見守りの在り方について、庁内他部門との連携やテクノロジーの活用等検討されたい。
- (12) 旧来の対象者が一般就労者に移行する中、さらにシルバー人材事業の年齢対象者の拡大を図り、新規事業にも取り組まれたい。
- (13) ふれあい館（高齢者福祉センター）の職員体制・サービス内容の充実を図り、利用者が楽しく安全に過ごせるよう計画的な建物の維持管理に努められたい。
- (14) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた生活困窮者に対して、丁寧に聞き取り相談をしながら、自立に向けた支援につなげられたい。また、ケースワーカーなど生活援護課の職員体制の強化を図られたい。
- (15) 生活保護受給世帯において小中学校入学時や転校時には入学準備金が出るが、市立中学校入学時の入学準備金では指定品の購入額が足りない学校がある。生活保護受給世帯が義務教育を受けるために困ることがないように、学校教育部と連携し、生活保護受給世帯における金銭的負担軽減に努められたい。
- (16) 国民年金保険料の産前産後免除申請については、申請し忘れた場合、追加申請できることを周知されたい。
- (17) 将来の年金受給者の生活安定のため、付加年金加入の広報強化を図られたい。

衛生費

- (18) 災害時の緊急医療救護所の医薬品確保のためのランニングストック方式による備蓄においては、期限切れなどによる廃棄処分を無くすとともに、備蓄量に応じた実在庫を維持する必要があることから、医療機関と連携し、その確認方法や頻度において検討されたい。
- (19) 市民の健康保持に取り組む、保健所職員・役職者の勤務時間、勤務体制が過重にならないように、健康維持には特に留意されたい。

- (20) 保健所のがん予防対策推進事業のPRに関して、デジタル広告に限定せず、看板や横断幕などのアナログ広告も重視されたい。
- (21) 健診未受診の方の中にはネグレクト等も考えられるため、健診未受診の方の理由の確認に努められたい。
- (22) 乳幼児健診、歯科健診の集団検診については、以前から課題とされている南地区での実施について早急に実現できるよう、より努められたい。
- (23) 産後ケア制度をさらに利用しやすくするため、また、産後うつや虐待防止の観点から、利用対象年齢の拡大や費用負担の軽減に努力されたい。
- (24) 産後ケアについては、第二子以降であっても利用しやすいよう、兄弟姉妹の預け先についての対応を進められたい。特に、市民病院においては保育室を有していることから、連携できないか検討されたい。
- (25) こんにちは赤ちゃん訪問事業の申込み件数向上に向けて、市民部と連携し、出生届提出の際の関連手続として案内いただきたい。
- (26) 妊婦面接への父親の参加者数を増やすよう努められたい。
- (27) 母親学級（プレママ・パパクラス）の中で、夫婦で産後の役割分担をしっかりと話し合う時間を設けていただくよう検討されたい。
- (28) 両親学級については、全ての講座が父親にとっても母親と同じように大切なものであり、開催日時や開催場所、開催形態等について見直しを行い、全ての講座で父親の出席率が母親同等となるよう努められたい。
- (29) 歯科口腔健康診査の受診率を上げるために、歯科医師会と連携したオーラルフレイル予防などの積極的な啓発周知と受診勧奨をされたい。

2 特別会計

国民健康保険事業会計

- (30) 国民健康保険税の滞納者に対する資格証明書は、病気等の命に関わる緊急時には、速やかに保険証を交付されたい。
- (31) 糖尿病とその重症化がもたらす病症の大変さをより広報し、糖尿病性腎症重症化予防事業参加者の検査数値のアップを図られたい。

介護保険事業会計

- (32) 介護保険料の滞納者に対して、給付制限をかけて、必要なサービスが利用できない方を生まないように、納付推進員と協力して実情をよく聞き取りながら納付につなげていくようさらに努力されたい。
- (33) 町トレ参加者とその団体をさらに拡大し、介護対象者の増加防止を図られたい。

後期高齢者医療事業会計

- (34) ジェネリック医薬品の供給が減っている状況下であるが、医薬品費用の削減のため、ジェネリック医薬品の確保、利用の拡大を図られたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳入)

(35) 貸付金元利収入の生活資金貸付金元金収入に関して、生活資金貸付金の制度は、収入済額が極端に少なく、不納欠損額と収入未済額が大半になっている。貸付金の機能が發揮されておらず、抜本的な事業の見直しを図られたい。

(歳出)

民生費

(36) 福祉施設の質の担保のために無通告の立入調査の実施を検討されたい。

(37) 保護世帯が増加する中で、母子家庭の比率と絶対数が共に減少しており、母子家庭の自立のための支援策、就業支援策を強化し、保護世帯の減少をさらに目指されたい。

2 特別会計

国民健康保険事業会計

(38) 地方税法第15条の7第5項を根拠とする「即時欠損」を行うことは、課税された市税徴収金を消滅させ、住民監査請求及び住民訴訟となる可能性がある。慎重かつ厳格な運用をされたい。

(39) 国保税の100%収納に向けて、さらに取組を強化されたい。

(40) 国民健康保険の保険者努力支援制度のマイナス点の項目、スコアが低い項目について改善に努められたい。

1. 認定第 3 号 令和3年度(2021年度)町田市病院事業会計決算認定について

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

- (1) 院内保育については、何年も定員に対し利用者が少ない状況が続いていることから、子育て家庭からの希望の多い、病院利用者の子どもの受入れを実施されたい。
- (2) 院内保育については、福祉施設に対し受審が努力義務とされている第三者評価を受審し、質の向上に努められたい。
- (3) 無形固定資産の電話加入権については、「担保価値無し」との説明であり、記載の見直しを図られたい。

- (4) 病院事業経営の健全化・安定化を図る上でも、小児救急や感染症医療など不採算部門を支える一般会計からの負担金交付金は、必要額の繰入れを引き続き求められたい。
- (5) 低金利の状況下、従前の高金利の政府資金の借入れに関しては、借換えの方法を検討されたい。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対応については、専用病床の確保と二次医療機関としての職員体制の強化及び一般患者受入れに影響が出ないよう、引き続き努力をされたい。
- (7) 新型コロナウイルスの感染防止対策として、PCR検査体制の拡充と発熱外来の維持・継続に努められたい。
- (8) 紹介状なしで市民病院を受診する際に初診料と別に徴収される「非紹介患者加算料(選定療養費)」については、地域のかかりつけ医との機能分担を図る目的であることを市民に十分周知する工夫を継続して努力されたい。

2022年9月16日

健康福祉常任委員長
石川好忠

町田市議会議長
戸塚正人様

文教社会常任委員会議案審査報告書

1. 第 82 号議案 町田市高校生等の医療費の助成に関する条例
1. 第 89 号議案 旧忠生第六小学校解体工事請負契約
1. 第 92 号議案 南大谷子どもクラブの指定管理者の指定について
1. 第 93 号議案 町田市大地沢自然交流サイトの指定管理者の指定について
1. 第 64 号議案 令和4年度（2022年度）町田市一般会計補正予算（第3号）

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和3年度（2021年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳出)

総務費

- (1) 地区協議会について、仲間を増やし、新たな担い手を発掘し、地域課題解決などの新規事業を実施できるよう、さらなる支援をされたい。
- (2) 町内会自治会の加入促進の取組については、どの取組がどれだけ効果が出ているか、効果検証の手法について考えられたい。
- (3) 町内会自治会補助金の支給基準について、自主防災組織との整合性に努められたい。
- (4) 女性悩みごと相談のさらなる周知と、あわせてDVを含め性暴力防止啓発事業の充実を図られたい。
- (5) LGBT相談窓口の拡充、さらに男性悩みごと相談窓口の設置について検討されたい。
- (6) 一人ひとりの犯罪被害や交通事故被害の減少に向けて、町田市交通安全協会、地域防犯力を担う団体等への支援をより強化されたい。

- (7) 特殊詐欺はその手口が複雑化している。情報提供や訓練においては、様々な手法で幅広い年代に周知されたい。
- (8) 防犯協会・安全協会とともに安心安全なまちづくりに重要な役割を担う町田消防少年団に対し啓発・支援を充実されたい。
- (9) 幼児同乗自転車の事故予防への啓発については、園から保護者へ呼びかけしてもらえよう、子ども生活部と連携されたい。
- (10) 中学校自転車教室の実施状況について、各学校での動画教材の活用状況を確認されたい。
- (11) 玉川学園コミュニティセンターでの図書予約受渡しサービスが可能であることを、継続して周知されたい。
- (12) マイナンバーカードの普及は、出前申請など積極的な申請支援やマイナンバーカード取得のメリットの周知に取り組むなど、目標を上回ったことは大いに評価する。一方で、マイナンバーカードセンターにおいては、普及率を見ながら、センターの効率的な運用に努められたい。
- (13) 住民異動の際に、市民の書く手間を省く「窓口申請支援システム」の全庁的な活用を検討されたい。

民生費

- (14) 子育てサイトの改善においては、他市のサイトも参考にさらなる改善に努められたい。
- (15) 保育園・幼稚園においては、予防のための子どもの死亡検証 (Child Death Review) を徹底し、事故予防に一層取り組まれたい。
- (16) 教育・保育施設等における散歩時の置き去りや、バスからの降ろし忘れ等、一時的に園児が行方不明もしくは閉じ込めにあった場合については、必ず市へ報告されるよう努められたい。
- (17) ベビーセンサーについては、市内の全ての保育園への設置を目指し、設置状況の確認と設置促進に努められたい。
- (18) 保育士確保の取組については、潜在保育士に対するアンケート結果などをもとに、エビデンスに基づいた取組をされたい。
- (19) 一時預かり・定期利用保育について、コロナ禍での利用控えが影響し、受入人数は増加したとのことだった。しかし、アフターコロナを見据え、緊急時に利用出来ないということがないよう、申請方法も含め、対策を講じられたい。
- (20) 一時保育については、利用登録や予約方法について利便性を高められたい。
- (21) ファミリーサポートセンター事業については、利用登録の場所を増やされたい。
- (22) ショートステイ、トワイライトステイ事業については、その利用ニーズが多様化している。一層の周知に努め、利用の利便性を含め、さらなる拡充に努められたい。また、見守りなどの役割もより周知、認識されたい。
- (23) 育児支援ヘルパーの質の担保を図られたい。
- (24) まこちゃん教室については、学習支援事業と統合するが、様々な視点からの支援として、応募者全員が利用できるよう、さらなる事業の拡充を検討されたい。

- (25) おうちでごはん事業については大変好評であるが、希望する方全員に配食できていない状況である。お弁当を作る体制に課題があるとのことだったので、今後給食センター等の活用についても検討されたい。
- (26) 子ども食堂は、食事提供のみならず、子どもと地域の交流の場であり、子ども施策において重要な役割を担っていることを踏まえ、運営支援策の拡充を図られたい。
- (27) ユニセフCFCI（子どもにやさしいまちづくり事業）についての周知をより積極的に行われたい。
- (28) 学童保育クラブの高学年受入れに伴い、高学年に特化したテーマ（発達、異性との関わり、性暴力など）の支援員研修のさらなる充実を図られたい。
- (29) 学童保育クラブにおける土曜日や長期休みの昼食提供や、開所日（日曜日、祝日、学校の臨時休校時等）の見直し、特別保育時間の見直し（早朝、夜）など、利用者の声をできる限り反映されたい。
- (30) ファミリーサポートセンター事業については、宿泊保育の実施を検討されたい。
- (31) ファミリーサポートセンター事業については、利用者が増えている子どもセンターや子どもクラブなどへのポスター掲示で、事業の認知度を高められたい。
- (32) 子どもセンター、子どもクラブについては、0歳児の利用者数が多いセンター、クラブの取組を参考にして、より一層乳児の居場所確保に努められたい。
- (33) 冒険遊び場は、子どもの居場所として、地域の多世代交流の場としての子ども施策を担っている事業であることを踏まえ、安定した運営の継続のために、引き続き要綱の見直し、補助金の増額を図られたい。
- (34) 副校長補佐の全校配置に努められたい。
- (35) 算数少人数教室については、全校でプロジェクターの利用が可能となるよう努められたい。
- (36) 病児病後児保育の広域連携については、自治体間での制度の違いなどの課題解決に努め、連携先自治体を増やされたい。
- (37) 有償ボランティア（まちともスタッフ）について、研修に努められたい。また、国家資格等の保有についての把握、処遇については他事業の有償ボランティアとの均衡に努め、実働時間の学校間格差についての再考や活動継続年数についての把握にも努められたい。
- (38) 医療的ケア児が保育園、学校で安心して学べる環境づくりにさらに取り組みられたい。
- (39) 子ども発達センターと教育センターの複合化の計画検討の段階から、利用者の声をよく聞き、反映されたい。

消防費

- (40) 災害時の液体ミルクの供給については、どれだけ確保が見込めるのか都との調整を急ぐとともに、備蓄について引き続き検討されたい。
- (41) 備蓄物資については、食物アレルギーの方への配慮を引き続き検討されたい。
- (42) 消防ポンプ車や装備品などは計画的に更新し、装備品のさらなる充実にも努められたい。

- (43) 高額の機材購入については、運営費からの負担ではなく、都度申請などにより購入するような仕組みを検討されたい。
- (44) 団員の事務作業の負担軽減のため、消防団管理システムのさらなる活用を含め、会計処理にあってはアプリなどの活用も検討されたい。
- (45) 様々な報道がある中、消防団運営費については、事務局が定期的に監査を実施するなど、第三者から見て使途に疑義を持たれないよう努力されたい。
- (46) 消防団施設の光熱水費について、施設間の差が大きいことは継続して指摘されているが、改善されていないところがある。しっかりと精査されたい。
- (47) 消防団運営費について、部ごとに契約しているガス・電話代・インターネット代の負担が大きい。これも部によって差があるが、精査し必要であれば、光熱水費・通信費として予算化されたい。
- (48) 自主防災組織補助金の支給基準について、新規と継続では不公平感が見られるため解消されたい。
- (49) 自主防災組織リーダーフォローアップ講習会修了者においては、その後どのように地域防災力の向上に努めたのか、受講後の具体例を共有されたい。
- (50) 町内会自治会、自主消防隊とともに、防火防災の啓発に重要な役割を担う町田消防少年団活動に対し啓発・支援を充実されたい。
- (51) 2020年度に開催されていた子ども生活部と共催の親子向け防災講話を再開されたい。
- (52) 町田市版BCP「町田市事業継続計画」にあっては、修正が完了したということではなく、これからも常に訓練、検証、見直しを継続されたい。
- (53) 防災計画において、「やさしい日本語」での表記など、外国人支援対策を充実されたい。

教育費

- (54) 災害共済給付の実績値を、校内の事故予防対策に活用されたい。
- (55) 小学校給食の厨房の空調の改善については、早期に取り組まれたい。
- (56) 中学校給食が、生徒にとって頼みやすくなるように、給食を取りに行く際の負担軽減など、改善に努められたい。
- (57) 中学校給食の保護者試食会については、全校での開催を進められたい。
- (58) 改定された「町田市いじめ防止基本方針」、各学校で作成している「学校いじめ基本方針」については、周知はもちろんであるが、学校いじめ対応チームを中心として、さらなる組織的な対応、そして、現場の教職員へ研修などを通してさらに徹底されたい。
- (59) 有償ボランティア（図書指導員）について、研修に努められたい。また、図書館司書以外の保有についての把握、処遇については他事業の有償ボランティアとの均衡に努め、実働時間についても他事業の有償ボランティアと乖離の無いように努められたい。
- (60) 教員のICT活用スキルの向上に、より積極的に取り組まれたい。
- (61) ドリルソフト「navima」の教材としての見直し、ソフトそのものの見直し、個人データの利活用、保管について、引き続き検討されたい。
- (62) Chromebookの持ち帰りについては、荷物の軽量化の観点から、特に小学校低学年の運用方法について、よく検討されたい。

- (63) 施設台帳については、学校ごとに記載方法が異なることから、内容を統一されたい。
- (64) 施設台帳を活用し、法定点検外の建物や建造物について、取りこぼしのないよう、安全対策を徹底されたい。
- (65) 小中学校の宿泊行事のキャンセル料については、新型コロナ感染症の見通しが立たない中、補助を継続されたい。
- (66) 外国につながる子どもたちへの日本語指導の支援体制を強化されたい。
- (67) けやき教室、くすのき教室において、利用者のニーズをしっかりと把握し、さらなる拡充を図られたい。
- (68) 適応指導教室に来ていない不登校児童生徒、その保護者が取り残されないよう、フリースクール活用支援など、当事者に寄り添い、希望を与える施策の充実に努められたい。
- (69) 発達障がい、学習障がいなど、支援を求める児童生徒が増えている中で、特別支援教育支援員の増員に努められたい。
- (70) スクールカウンセラーについては、オンラインの実施や土日の実施ができないか可能性を研究されたい。
- (71) スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーについては、さらなる人材確保、支援技能の向上、そして増員に努められたい。
- (72) デジタルミュージアムの多方面への活用を検討されたい。
- (73) (仮称) 国際工芸美術館整備計画は、一体化工事部分も含め、継続して広く市民に説明する機会を設けられたい。
- (74) (仮称) 国際工芸美術館整備計画の進め方について、今後同様の施設整備の計画時は、計画当初から市民の声をしっかりと聞く機会を設けて計画を策定されたい。
- (75) 博物館においては、市内アウトリーチ、他自治体博物館・美術館への貸出しなど、所蔵品の積極的活用を進められたい。
- (76) 市民ホールなど長期間の休館を伴う工事の実施にあたっては、バリアフリー対策などもあわせて実施することを検討されたい。
- (77) 国際交流センター事業における会員数の極端な減少については、市も危機感をもって、その対策に取り組まれたい。
- (78) 国際交流センター、外国人支援事業（日本語教室、子ども教室、外国人のための相談など）については、国際交流センター、ボランティアに頼っている現状がある。人材育成も含め、さらなる専門的な対応は必須である。市も一層積極的に介入をし、外国人支援に取り組まれたい。
- (79) デジタルデバйд対策事業においては、出張講座の拡充や、他部署の事業との連携にさらに努められたい。
- (80) まちチャレの講座受講時の保育サービス提供については、団体ごとに決められた補助額とは別に、保育サービスの提供のための補助を実施されたい。
- (81) 生涯学習センターの保育室については、価格の見直しや無料開放の検討などで利用率の向上を図られたい。

- (82) 生涯学習センターの障がい者青年学級について、関係者の意見をよく聞き、事業を継続されたい。
- (83) 図書館でのレファレンスサービスについて、さらなる周知の工夫に努められたい。
- (84) 市民の強いニーズである図書の実践のため、図書購入費の予算を増額されたい。
- (85) 町田市立図書館の図書の蔵書冊数及び選書については、他市図書館、市内大学等、学校図書館などとのネットワークも視野に入れながら、さらなる蔵書の実践に努められたい。
- (86) 市立図書館と学校図書館とのさらなる連携を深め、目指す姿である「子どもの読書活動を充実させる図書館」の実現に努められたい。
- (87) 市民文学館においては、中央図書館、国際版画美術館等周辺施設との連携に積極的に取り組まれたい。
- (88) 国際版画美術館での子ども鑑賞会については、情操教育の面からも今後も積極的に実施されたい。
- (89) 国際版画美術館の展示について、さらに専門性を発揮した魅力ある展示に努められたい。
- (90) 国際版画美術館においては、SNS発信、WEBコンテンツの実践等インターネットの活用により来館者の増加に努められたい。
- (91) 版画工房の一般開放の日数については、増やすことができないか検討されたい。
- (92) 版画工房の予約方法については、オンライン予約システムを活用できないか検討されたい。
- (93) 地域スポーツクラブの活動拠点となる新たに整備される小中学校におけるクラブハウスの取扱いは、新たな学校に必要な機能を精査し、総合的に検討されたい。
- (94) 学校への照明設備の整備については、既存施設の利用状況や地域における利用ニーズ等を踏まえ、具体的な検討を行われたい。
- (95) 建設から30年以上が経過し、老朽化している市立総合体育館にあつては、今後必要な修繕の主なものに限っても、空調熱源更新修繕に約1億3千万円など、かなりの支出が必要となる。現状のできる限りの修繕を行いながら、しっかりとした修繕計画を立て、維持管理に努められたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳出)

民生費

- (96) 学童保育の質の向上のために、匿名性の担保された利用者及び職員アンケートを実施されたい。
- (97) 小学校における男女別の更衣については、早急に全校で対応ができるよう予算を確保されたい。
- (98) 子ども発達センターについては、相談受付から発達検査実施までの期間の短縮に努められたい。

消防費

- (99) 消防団運営事業において、出動時に誤報だった場合、費用弁償のみという現在のあり方を見直されたい。

教育費

- (100) 小中学校における市内全体のいじめの認知件数については、議会に報告をされたい。
- (101) 地域スポーツクラブにおいては、解散があった際に補助金を活用して購入した備品の取扱いをどのようにするか明確にされたい。
- (102) 夏期学校プール開放事業及び学校温水プール開放事業については、警備業法の許可のあるところへの委託もしくは監視の教育を受けた人材にて必ず実施されるよう努められたい。

2022年9月21日

文教社会常任委員長
東 友 美

町田市議会議長
戸 塚 正 人 様

建設常任委員会議案審査報告書

1. 第 85 号議案 町田市教育環境整備地区建築条例
1. 第 86 号議案 町田市立公園条例の一部を改正する条例
1. 第 90 号議案 ペDESTロリアン1号デッキ上屋補修工事請負契約
1. 第 91 号議案 市道路線の認定について
1. 第 94 号議案 金森市民住宅外1箇所の指定管理者の指定について
1. 第 64 号議案 令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第3号)
1. 第 68 号議案 令和4年度(2022年度)町田市鶴川駅南土地地区画整理事業会計補正予算(第1号)
1. 第 69 号議案 令和4年度(2022年度)町田市下水道事業会計補正予算(第1号)

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和3年度(2021年度)町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳出)

衛生費

- (1) 温室効果ガス排出量削減のため、省エネルギーや再生エネルギーの導入拡大を強化されたい。
- (2) 石綿(アスベスト)に関して、飛散防止強化に努められたい。
- (3) 市庁舎南口の電気自動車充電器の設備は急速充電できるものに変えられたい。
- (4) 水素ステーションの誘致と水素エネルギーの普及啓発に取り組まれたい。
- (5) アライグマ・ハクビシン防除事業のさらなる周知を図られたい。
- (6) 指定喫煙所における閉鎖型・加熱式たばこ専用などの新たな受動喫煙対策を検討され

たい。

- (7) 公共用水域の水質改善へ向けて、公共下水道への接続や合併処理浄化槽への切替え啓発活動を、さらに努力されたい。
- (8) ごみ量及び資源化率など成果指標をわかりやすく工夫して記載されたい。
- (9) 生ごみの削減に向け、「食品ロス削減推進計画」を策定されたい。
- (10) 町田市バイオエネルギーセンターが稼働したことにより成果指標の見直しをされたい。
- (11) 町田市バイオエネルギーセンターの管理運営に当たっては、適正・公正・安全に行われるよう市が充分関与できるようにされたい。
- (12) 多摩地域 26 市において、町田市資源化率は 24 位なので、新たな資源化施設の整備前に、取り組むべきことを検討されたい。
- (13) 町田市バイオエネルギーセンターの市民への施設見学対応を行い、ごみの分別や減量に対しての啓発活動をされたい。
- (14) リレーセンターみなみは、施設の老朽化が進んでいるため、設備・機器の修繕について必要箇所を厳選して実施されたい。
- (15) 家族等の手助けがなく、自身でゴミ出しが困難な市民のニーズを把握されたい。

土木費

- (16) 豪雨災害を防ぐために、土砂や草木などの除去を行うなど調整池及び水路の管理・点検に一層取り組まれたい。
- (17) トンネル・橋梁等管理計画へのドローン等、新技術のさらなる活用を図られたい。
- (18) 「市民通報アプリ・まちピカ町田くん」を、さらに市民に活用いただくため、認知度の向上を図られたい。
- (19) 新設の道路整備や運行車両の増加により、カーブミラーの要望が増えている。歩行者の安全も配慮しながら、現場に即したサイズの対応で必要な場所への設置を推進されたい。
- (20) シェアサイクルの利便性向上のため、さらなる他自治体への乗り入れが可能となるよう、拡充に努められたい。
- (21) 南町田地域・多摩境駅の駐輪場需要が多く、慢性的なキャンセル待ち状態が続いているため、駐輪場の早期拡大等の対策をされたい。
- (22) 市民要望に応じて、駅周辺などへの公共トイレの設置を検討されたい。
- (23) 老朽化に伴い、町田駅前公共トイレについて、大規模修繕の検討をされたい。
- (24) 公共トイレの防犯向上に対して、すべての個室に警備機械が導入されたが、さらなる防犯強化のため、公共トイレ外側へも、非常ボタン設置を検討されたい。
- (25) 狭あい道路拡幅事業については、整備待ちが多くある。市民要望に応えられるよう進められたい。
- (26) 行政収入を確保するためにも、災害・停電時 LED 街路灯「消えないまちだ君」の広報活動を積極的に行い、全国発信・推進向上に取り組まれたい。
- (27) 生活道路の整備については、早期整備を望む声がある。市民要望に応えられるよう進められたい。

- (28) 生産緑地事業について、都市農地の保全や活性化のための持続可能な取組をされたい。
- (29) 鶴川駅南口アクセス道路整備に当たっては川崎市住民の声も聞いて、安全性の確保に留意されたい。
- (30) 成果指標については、事業を実現するために何をするか具体的な内容、数値を設定されたい。
- (31) 地域公共交通の導入については、地域に存在する民間等の移動支援を活用した新たな地域交通のあり方を推進されたい。
- (32) 市民のニーズをさらに把握しながら、市民バスの事業継続に努められたい。
- (33) 地域コミュニティバスの運行内容の見直しについては、利用者の利便性が低下することがないようにバス事業者・各地域協議会と協議のうえ、丁寧に対応されたい。
- (34) 路線バスのバス停における上屋やベンチ等の設置についてはバス事業者と連携して、市民からの設置要望に丁寧に対応されたい。
- (35) 町田市内鉄道駅ホームドア整備事業を、さらに進められたい。
- (36) 身近な公園の管理について公益的活動団体（ボランティア）の管理だけに頼るのではなく、公園及び周辺活性化が図られるような管理手法を検討されたい。
- (37) 公園や緑地等の維持管理に協力してもらっている公益的活動団体（ボランティア）が活動しやすい環境づくりをさらに推進されたい。
- (38) 公園の整備に当たっては、各団体の声を聞いて、整備を着実にして、インクルーシブ遊具の導入を強化されたい。
- (39) 公園の魅力向上と活用促進のため、キッチンカー出店等の実証実験をさらに実施されたい。
- (40) 鶴間公園テニスコートの防音壁については、騒音を防ぐために必要な施設を早急に整備されたい。
- (41) 公園でのボール遊びなどの利用ルールを、適切に周知されたい。
- (42) 忠生スポーツ公園の整備を着実に進められたい。
- (43) 管理不全空家については、民法の改正を視野に入れ、行政としても改善に向け適切な管理に取り組まれたい。
- (44) 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化推進のため、所有者への働きかけに一層取り組まれたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

1 一般会計

(歳出)

土木費

- (45) 近隣の他自治体の駅前市街地再開発等のまちづくりの取組を、参考にされたい。

1. 認定第 2 号 令和3年度（2021年度）町田市下水道事業会計決算認定について

本委員会は、9月8日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

記

- (1) 管渠費、処理場費について、老朽化した施設の更新は後年度の負担をできるだけ増やさないよう、黒字分の費用を活用しながら前倒しで進められたい。

2022年9月21日

建設常任委員長
渡 辺 巖太郎

町田市議会議長
戸 塚 正 人 様